

M I E N O N I J I

みえの虹

三重県生活協同組合連合会
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目135 ハイツフジタ1F

TEL 059-228-9913
FAX 059-228-9915

No.94

2012年9月

核兵器も戦争もない 平和な世界・未来を築こう！

今年もピースアクションinヒロシマへ代表を派遣しました



原爆ドーム



みんなのひろば



ピースナイター2012



平和の鐘

2012年は国際協同組合年です



協同組合原則

1995年9月マンチェスター
でのICA大会で採択

- 自発的で開かれた組合員制
- 組合員による民主的管理
- 組合員の経済的参加
- 自治と自立
- 教育、訓練および広報
- 協同組合間協同
- コミュニティへの関与

日本生協連（8月4日～6日）
ピースアクションに代表を派遣しました



今年も県連では日本生協連が主催するピースアクションinヒロシマに平和活動委員会から吉田房子さん、川元チエ子さん（コープみえ）の2名が参加しました。県連では2015年の再検討会議にむけて平和市長会議への県内未加盟自治体に対する加盟要請行動を取り組んできました。今年も平和のための活動を行政や地域の諸団体のみなさんと協力しながら取り組んでいきます。

（8月4日（土））

・広島平和記念資料館見学

（ピースボランティアガイドの案内）

・被爆の証言
（今だから聞いて感じる原爆のはなし）

・碑めぐり 平和記念公園内

（原爆ドーム・原爆の子の像・原爆死没者慰靈碑）

（8月5日（日））

・碑めぐり
（平和の時計塔・護国神社鳥居の脚部・被爆柳・空鞘神社・本川小学校平和資料館）

・2012ヒロシマ虹のひろば
（オーピング 演奏：山陽太鼓 “禅”）

広島山陽高校和太鼓部

広島市ごあいさつ、被爆者の証言、みんなのひろば、合唱フィナーレ

- ・「平和憲法・9条を考える会」交流会
「ピースナイター2012」（広島・阪神戦）
（8月6日（月））
- ・広島市原爆死没者慰靈式並びに平和祈念式



広島市原爆死没者慰靈式

わたしをかえせ わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんの にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを へいわをかえせ

崎 三吉

峠三吉は28歳の時、爆心地から3km余りの翠町の自宅で被爆。戦後、原爆症に苦しみながら、青年運動・文化運動を通じ次第に平和運動の先頭に立つようになりました。療養所の一室で書き上げた「原爆詩集」がベルリン世界青年和平祭に日本の代表作の一つとして送られ、世界的な反響を呼びました。
1953年病没。36歳の若さでした。

・サダコと折り鶴の話

ちぢをかえせ ははをかえせ としょりを
かえせ こどもをかえせ

わたしをかえせ わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんの にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを へいわをかえせ

崎 三吉

峠三吉は28歳の時、爆心地から3km余りの翠町の自宅で被爆。戦後、原爆症に苦しみながら、青年運動・文化運動を通じ次第に平和運動の先頭に立つようになりました。療養所の一室で書き上げた「原爆詩集」がベルリン世界青年和平祭に日本の代表作の一つとして送られ、世界的な反響を呼びました。
1953年病没。36歳の若さでした。

**最前線兵士が見た
「中国戦線・沖縄戦の眞実」**

近藤 一さん 講演会開催報告



8月6日（土）尾鷲市中央公民館にて、最前线兵士が見た「中国戦線・沖縄戦の眞実」、加害兵士にさせられた下級兵士」というテーマで講演会が開催され約40名が参加しました。主催は三重県生活協同組合連合会と平和のための戦争展」実行委員会です。平和の尊さと、戦中おこなわれてきたことについて学び、さらに憲法第9条についても考える機会としました。特に中国戦線の話のくだりは、加害者立場からの話で非常に衝撃的であり、生々しくリアルなものでした。近藤さんは当時の事を思い出されるたびに目に涙を浮かべられ、言葉に詰まるシンが幾度とありました。今年、近藤さんの講演は4月の四日市、7月の三重大学に続き3回目です。このような形で実行委員会が結成され県内各地で開催されることになります。また、今回は地元の新聞に講演会の内容が2回にわたりて掲載されました。NHKの当日のニュースでも報道されました。

- ・「平和憲法・9条を考える会」交流会
「ピースナイター2012」（広島・阪神戦）
（8月6日（月））



2012 年度専門委員会
スタートします。

第36回通常総会で2012年度方針が承認されたこと受けて、2012年度も理事会の下に専門委員会を設置し、くらしを守る運動を会員生協と一緒にすすめます。「食の安全委員会」、「平和活動委員会」、「協同のあるまちづくりをすすめる委員会」を消費者・市民の立場からくらしを取り巻



「昨年の委員会の様子」

【平和活動委員会委員
(敬称略)】

三重県ユニセフ協会設立 発起人会が開催されました

8月29日(水)三重県教育文化会館にて三重県ユニセフ協会設立発起人会が開催されました。

当日は、設立発起人35名のうち22名と日本ユニセフ協会からの計25名が出席し12月4日の設立大会に向けた準備・事項を確認しました。設立準備委員会代表の三重大学内田淳正学長より、「世界の子どもたちの8～9割決して満足な暮らしをしている状況とは思えない。今後日本がどう支援していくか、また三重県として支援を担え

〔協同のあるまちづくりを
すすめる委員会委員
(敬称略)〕

寺崎由郎
花岡俊雄
楳田隆夫
吉田房子
川元チエ子
川北晃義
みえ医療福祉生協
みえ医療福祉生協
みえ医療福祉生協
みえ医療福祉生協
みえ医療福祉生協
みえ医療福祉生協

した。長より経過報告がありました。さらに公益財団法人日本ユニセフ協会早水研専務理事の来賓挨拶があり、今日に至った経過と日本がユニセフの最大の支援国であること、そして三重県ユニセフ協会（仮称）への期待が述べられました。そして設立大会までの行動計画と収支予算について決定されました。最後にオリンピック・メダリスト三重大学 武田美保特任教授より「どの国の子もしっかりと健康に育つことを願い、誇りを持つて頑張っていきたい」挨拶があり閉会しました。



三重県からのお知らせ

食の安全安心ミニ情報

9月は健康増進普及月間です

生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性について一人ひとりが理解を深め、さらに健康づくりの実践を促進していくことを目的とした月間です。



会員だより

みえ医療福祉生協・三重大学生協

「核兵器のない世界の扉を開こう」原水爆禁止2012年世界大会に参加して

みえ医療福祉生協

原水爆禁止世界大会(広島)が8月4日～6日の3日間の日程で開催され、海外代表も含め会場の広島県立総合体育馆は、6,800人の参加者の熱気にあふれました。三重県からは、各地から31名の方が参加し、内みえ医療福祉生協と三重民医連からは11名が参加しました。



最終日の閉会式では、国連のパンギムン事務総長のメッセージが代理人の軍縮問題担当上級代表から報告されました。また、福島県浪江町の町長とともに、原発でやむなく避難生活を送る女子高校生2人が「私たちの未来に核兵器や原発はいらない」と声をそろえて訴え、会場からの大きな拍手につつまれました。今回の世界大会は、核兵器廃絶だけではなく、福島の原発問題や米軍基地へのオスプレイ配備などの課題も浮き彫りになりました。8月中旬には、事業所ごとに報告会などを開催し、学んできたことを発表する予定です。

全国教職員セミナー2012が開催されました

三重大学生協

8月24、25日に三重大学において、全国各地の大学から約280名の教員、大学職員、生協職員が参加し「全国教職員セミナー2012」が行われました。今回のテーマは「大学生協の教育的役割を考える」と題して行われ、1日目は内田三重大学学長の挨拶、朴副学長による実践事例報告「世界一の環境先進大学三重大学」、シンポジウム、ポスターセッションなどが行われました。2日目は6つの分科会に分かれて、生協の教育的役割、食育、平和、環境、読書、組織参加について学びました。懇親会には三重県の郷土料理が並び、参加者から「よかった」「おいしい」という評価をいただきました。



25日午後からは、オプション企画として、亀山・鈴鹿各地に点在する戦跡を見て回る「鈴鹿の戦跡めぐり」を行いました。

26日のオプション企画は、多気町にある「まごの店」の仕掛け人、岸川政之さん（多気町役場職員）と村林新吾先生（県立相可高校教師）の興味深く、ユーモアのある話を聞いた後、高校生の作った「花御膳」をいただきました。

理事会だより

第2回理事会

(2012年8月2日 13:43～15:23 三重県生協連事務所)
出席理事6名、欠席理事2名、出席監事2名、オブザーバー1名

協議決定事項

1. ホームページの作成について
2. 国際協同組合年3県協同広告に関する件について
3. くらしを守る運度課題のすすめ方について

4. 第36回通常総会終了届け、代表理事変更登記終了報告
5. 三重県の防災訓練等への協賛広告の対応について
6. ピースリレー2012、ハート平和行進報告
7. 日本生協連2012年ピースアクションへの県連代表参加について
8. その他

- ①三重県食の安全確保のための検討会議への委員要請について
- ②みえフードイノベーション（ノリ部会）懇談会構成員への就任（依頼）について
- ③第35回（2012年）東海北陸生協行政合同会議開催のご案内

報告事項

1. 機関会議報告
2. 活動報告
3. 日本生協連、県、諸団体等の会議報告